

Windows XP搭載パソコンをどう取り扱う？

平成21年度のスクール・ニューディール構想で整備されたICT機器に環境の変化が押し寄せています。これらのICT機器について、今後はどのように考え、どう対応していけばよいのでしょうか。

—— まずは、学校のICT環境を早急に確認を ——

ハードの耐久性、OSのサポート終了、 タブレットPCの広まりをどう考える？

Windows XP搭載パソコンを例に考えてみると、平成26年4月までに教育委員会のみなさまが、やるべきこととはどのようなことなのでしょうか。

- ①当時導入されたWindows XP搭載パソコンはダウングレード版がほとんど。よってこれからの一年半の間にアップグレードを行う。そのための作業費を、早急に捻出または予算化する。
- ②Windows XPのサポートが終了してしまっても、予算化されるまで誤魔化しながらパソコンを利用する。
- ③ハードは古くても、最新のシンクライアント技術やリモートデスクトップなどを活用し、XPでも使えるシステムを検討してみる。たとえば、このような選択肢が考えられますが、みなさまの自治体ではどのようにお考えでしょうか。

- 現状を把握し、環境の変化への対応や整備目標を計画する -

すぐに作業や購入が必要なものを明らかに。 中長期の整備計画で新たな目標や成果指針などを設定。

先ほどの例のように、スクール・ニューディール構想で整備したパソコンをいつバージョンアップしたり、リプレイスするかの検討をするには、学校でのICT活用状況を把握する必要があります。

その上で、学校のハード・ソフトの状況やICT整備の進展度合いに応じて、中長期計画の策定を進めてみてください。

現状に合わせた整備目標を元にした計画が策定できれば、実現性の高さや説得力が増し、周囲の理解も得られやすくなります。

■中長期計画フォーマット

https://school-ict.nlk.jp/file_count/cyuucyoukikeikaku_jmc.pdf

使用方法：

- ・空白部分(担当部署、現状、優先度、費用)を記入する。
- ・サンプルスケジュールを調整し、スケジュール作成する。

資産の有効活用は、今後の整備計画と一緒に検討し、早急な対応を進めてください。

今回ご紹介した以外にも、スクール・ニューディール構想で導入されたICT機器の有効活用方法を随時ご提案させていただきます。添付の中長期計画のフォーマットの使い方についてもご質問・ご相談を受け付けています。



項目	現状	優先度	費用	備考
PC				
タブレットPC				
シンクライアント				
リモートデスクトップ				
その他				